

ナウマン通信



2021年
4月8日発行
第2号

大阪市立我孫子南中学校

心機一転

始業式

コロナ禍の厳しい中、本日、2021年度の始業式を実施することができました。6日に入学式を終えたばかりの新入生と新2・3年生が対面式を行い、全学年そろっての始業式となりました。初めに新転任の教職員の紹介を行いました。今年はたくさんの異動があり、新しい出会いがたくさんありました。みんなは何を感じましたか？その答えは明日からのみんなの行動にあらわれることだと思います。今日の始業式でお話しした内容を以下に簡単にまとめました。自分の気持ちと照らし合わせながら思い出して読んでみてください。

始業式より

まん延防止等重点措置が適用施行される中、新しい年度の始まりをこうして皆さんと迎えることができたことを非常にうれしく思います。ただし、いまだ感染者は拡大し、様々な制限があることも忘れて、今後も感染予防対策を徹底して欲しいと思います。

さて、先ほど紹介したように新入生の入学をはじめ、多くの先生方に我孫子南中学校に来ていただきました。新しいたくさんの出会いができました。逆に昨年度までお世話になったたくさんの先生方との別れもありました。さみしい思いをしている人もいるかもしれません。しかし、皆さんはこれからこのような出会いと別れを繰り返すこととなります。どうかこのような人との縁（えん）やつながりを大切にしてください。このことがきっとみなさんを成長させてくれるきっかけになると思います。



もう一つお話ししたいと思います。「心機一転」という言葉についてです。

みんなさんもよく知っている言葉です。心機一転の「心機」とは、心の働きや気持ちを指し、「一転」とは、ひっくり返ることやガラリと変わるという意味があります。それらが組み合わさりできた「心機一転」とは、あるできごとがきっかけになって気持ちを入れ替え、考え方や気持ちが良い方向に切り替わるという意味を持ちます。1年生から2年生に、2年生から3年生に、そして小学生から中学生になったこのきっかけをもとに「よーし、がんばろう」という前向きな気持ちに切り替えるチャンスの時です。みんながそんな気持ちで新年度をスタートし、今年も「止まり木のような学校」を一緒に創っていきましょう。

保護者の皆様、今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。